

丹後語り部の会 語り部動画制作・活用事業

丹後語り部の会



丹後の自然や文化の魅力を伝える語り部動画を制作し、講座や現地調査、高校との共同学習などを通して活動を広げた。地域での発表会や学校・自治会での動画活用も進み、語り部の魅力が住民に広く伝わり、新たな担い手の育成や地域資源の継承にもつながった。

フォトロゲイニング手法を活用した、シビックプライド醸成事業 —鴨川運河—

鴨川運河会議



フォトロゲイニング手法によるフィールドワークを通じ、鴨川運河の歴史・文化資源を幅広い層に再認識してもらうことができた。また交流会、文化資源紹介冊子等の制作も行った。この活動を通して地域への関心と理解、シビックプライドの醸成につなげることができた。

淀川水運活性化による水都大阪の再生

水都大阪を考える会



韓国で復元された朝鮮通信使船の来港に合わせ、パネル展、講演会を開催し市民が歴史に触れる機会をつくった。南港での船内見学や万博会場での朝鮮通信使行列に加え、通信使ゆかりの淀川を遡上するクルーズを実施。日韓交流を深めながら、淀川水運の魅力を再発見し、水都大阪の再生につなげる取り組みとなった。

わが町!子どもがキャプテン?!防災スクエア・プロジェクト

北中島宿題ひろば



子ども達が災害への備えを意識できるよう、子どもたち主体の防災スタンブラリーやレスキューホイッスル作りなどを行った。また、地域施設とも連携を図り、公式アカウントで防災情報を発信した。避難所運営者との協力も進み、地域の防災力向上に役立つ取り組みとなった。

コウノトリもすめる環境づくりのため、農業と里山をまもる活動

Toyooka AgRestart



里山再生とコウノトリとの共生に向け、地域住民と協力して竹林整備、松の植樹を実施。また、野生動物と人との境界線整備として、草刈り、電気柵設置を行った。さらに兼業農家・非農家向けの巡回相談会を開催し、営農計画の支援を行った。今回、自治協議会と連携することにより、多くの地域住民との広範囲の活動につなげることができた。

権太の森で冒険 —自然と歴史を探求しよう—

NPO法人 Co-Creation このゆびとまれ



防災フォーラムや歴史探訪イベント、森の音楽会、門松づくりなど多様な催しを通じ、地域住民が自然・歴史・文化・防災を学ぶ機会を創出。里山保全の重要性を共有し、地域防災力の向上と世代間交流、地域資源の価値再認識につながる取り組みとなった。

「使える空き家」発掘&マッチングプロジェクト

NPO法人 たけのこぞく



町の空き家問題の理解促進と利活用を目的に、所有者向けイベントを実施。修繕費や解体費、放置リスク等についての意識の向上を図った。また、移住希望者向けに空き家博覧会を開催した。実際の物件見学や所有者との対話を通じて今後の活用を後押しすることができた。

夏休みこども講座「神島で磯のゴミ拾い」

南方熊楠顕彰会



「神島の天然記念物指定90周年」を機に、南方熊楠ゆかりの島の歴史や生物について学び、環境問題への理解と保全意識を育むことを目的に夏休みこども講座を実施。学習後の磯のゴミ拾いでは多様な漂着ゴミを回収。海の環境を守るための課題を確認することができた。回収物の一部は特別企画展で展示した。

川から田んぼへ魚の道を作る会活動

NPO法人 地域と自然



地域の生物多様性を確保するため、地域と連携して名張川支川「留い川」で子ども達と魚道の設置作業や観察会を行った。また、ナマズの遡上調査を行い、貴重な成果を得ることができた。活動は報告会やメディアを通じ広く周知され、地域づくりへの波及効果も生まれた。

地域とともに育む熊野古道プロジェクト

日本風景街道熊野



世界遺産登録20年を迎え、熊野古道の魅力をあらためて伝えるために、刈り開き体験や植樹活動を実施。地域の人や参加者が一緒になって古道を整備し、自然や文化に触れながら交流を深めた。初の一般参加型イベントとして、日本風景街道熊野の認知向上や地域のにぎわいづくりにもつながった。